

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-211037

(43)Date of publication of application : 11.08.1998

(51)Int.Cl.

A47B 37/00

(21)Application number : 09-018696 (71)Applicant : UCHIDA YOKO CO LTD

(22)Date of filing : 31.01.1997 (72)Inventor : MIYAZAWA AKIHIKO

(54) DESK FOR NOTE TYPE OA EQUIPMENT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable a note type personal computer to be immediately taken out from a drawer storing the same if necessary and to use at the site, by equipping a power source outlet and a wire passing opening to pass cables in a drawer and an opening for wire passing on the upper part of a panel board.

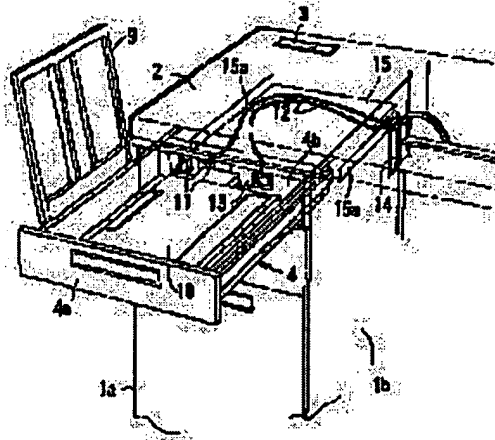
SOLUTION: Two right and left wire passing openings 3 are equipped on the top plate of a desk and an opening is formed between the top drawer of the wing 1a and the desk. A sub-top plate 9 is erectably equipped in the drawer 4 and a note type OA equipment 10 is housed under the sub-top plate 9. A power outlet 11 and a wire passing opening 13 for passing cables 12 are equipped on the back plate of the drawer to enable cables 12 to be connected in the drawer 4, and a wire passing opening 14 for passing cables 12 is equipped on the side face, etc., of the wing 1a. A cable

receiving member 15 is equipped under the position where the drawer 4 is drawn in and a cable 12 is set on the upper face of the cable receiving member 15 to make the cable 12 to be freely moved on the upper face.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]



[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-211037

(43)公開日 平成10年(1998) 8月11日

(51)Int.Cl.⁹

A 4 7 B 37/00

識別記号

5 0 5

F I

A 4 7 B 37/00

5 0 5 C

5 0 5 F

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全 5 頁)

(21)出願番号

特願平9-18696

(22)出願日

平成9年(1997) 1月31日

(71)出願人 000152228

株式会社内田洋行

東京都中央区新川2丁目4番7号

(72)発明者 宮 澤 明 彦

東京都中央区新川2丁目4番7号 株式会
社内田洋行内

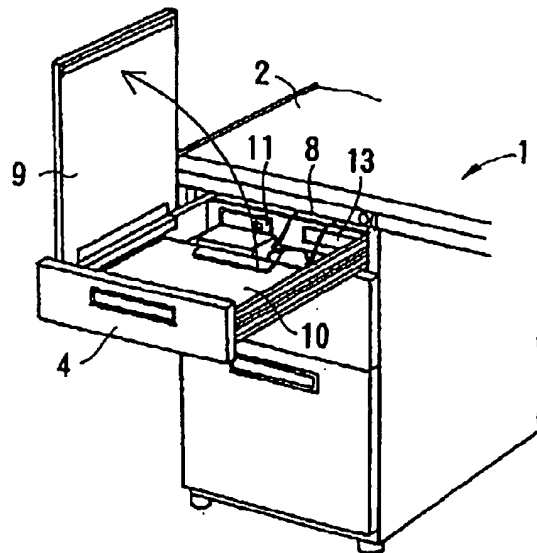
(74)代理人 弁理士 佐藤 一雄 (外3名)

(54)【発明の名称】 ノート型OA機器用対応デスク

(57)【要約】

【課題】 必要の際にノート型パソコン等を直ちに引出してその場で使用することを可能としたデスクの提供を課題とする。

【解決手段】 デスク1の引出し4内に電源コンセント11、通線口13を設け、デスク1内部を通線可能とすることでOA機器10にケーブル類を接続したまま収納および引出しできるよう、引出し4の前鏡板4a上部に通線のための開口8を設けたことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】引出し内に電源コンセントおよびケーブルを通すための通線口を設け、引出し前鏡板上部に通線のための開口を設けたことを特徴とするノート型OA機器用対応デスク。

【請求項2】前記引出しの引込み位置の下部にケーブルを受ける棚状のケーブル受部材を有している請求項1記載のノート型OA機器用対応デスク。

【請求項3】デスクの袖側面、背面および天板上面のいずれか適所にケーブルを通すための通線口を設けるとともに、引出しの奥側デスク内にケーブルを保持して伸縮をガイドするケーブルガイドを有している請求項1記載のノート型OA機器用対応デスク。

【請求項4】デスクの引出しに該引出しの上部開放面に置かれる補助天板が引出しに開閉自在に取付けられている請求項1記載のノート型OA機器用対応デスク。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ノート型パソコン等の小型OA機器に各種ケーブル類を接続したまま収納するようにしたノート型OA機器用対応デスクに関する。

【0002】

【従来の技術】従来から使用されているデスクの引出しは書類、筆記具、小物等を収納するためのものであり、小型化が進み近年普及し始めたノート型パソコン等の収納は考えられていない。これに対して特公平6-67332号公報に開示されているようなファクシミリ内蔵型家具が提案されているが、これとても目的は受発信のファクシミリを収納し通信内容の機密漏洩の防止を図ることはできても、ノート型パソコン等の場合、必要の際に直ちに引出してその場で使用することは困難である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしてデスクの引出しにノート型OA機器等を収納するにはデスクにコンセントがないために接続ケーブルを電源に接続するため外へ出さなければならず、またデスクの引出し内に配線することは困難であった。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記の現状に鑑み、ノート型パソコン等を収納し得る引出し内から必要の際に直に取り出してその場で使用することを可能とするノート型OA機器用対応デスクを提供することを課題としてなされたもので、その解決手段として本発明は、ノート型OA機器の防盜性を備えた収納場所をデスク袖上段引出しに確保すると同時に、引出し内に電源コンセントや通線口を設け、袖内部を通線可能とすることでOA機器にケーブル類を接続したまま収納できるようにしたことにある。

【0005】すなわち請求項1記載の発明は、デスクの

引出し内に電源コンセントおよびケーブルを通すための通線口を設け、引出し前鏡板上部に通線のための開口を設けたことを特徴とする。

【0006】また請求項2は請求項1記載の発明において、前記引出しの引込み位置の下部にケーブルを受ける棚状のケーブル受部材を付加したものであり、また請求項3は、デスクの袖側面、背面および天板上面のいずれか適所にケーブルを通すための通線口を設けるとともに、引出しの奥側デスク内にケーブルを保持して伸縮をガイドするケーブルガイドを有していることを特徴とし、請求項4は、前記デスクの引出しに該引出しの上部開放面に置かれる補助天板を引出しに開閉自在に取付けたことを特徴とする。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、本発明を図面に示す実施の形態を参照して説明する。

【0008】図1は本発明にかかるノート型OA機器用対応デスク1を前側から見た斜視図を示すもので、天板2にはその奥側に左右2個の通線口3、3が設けられており、袖1aには引出し4、5、6がそれぞれ設けられている。

【0009】天板2下のデスク1には少なくとも最上段の前記引出し4を施錠する鍵孔7が設けられ、デスク1と引出し4の鏡板4aとの間にはケーブル等を通すための開口8が形成されている。

【0010】図2は図1の引出し4を手前に引出した状態を示しており、引出し4内には天板2がふさがっている場合に利用できる補助天板9が設けられている。

【0011】この補助天板9は、図3に示すように引出し4に対して蝶番等により起伏自在とされており、補助天板9の下側にはノート型OA機器10が収納されるようになっている。

【0012】引出し4の奥板4bには、図3および図4に示すように電源コンセント11および電話回線、LAN等のケーブル12を通すための通線口13が設けられている。これにより引出し4内で各ケーブル12の接続が行える。また図4に示したようにデスク1の袖1aの側面、背面および天板上面のいずれか適所（実施例では袖1aの内側の側面1b）にケーブル12（電源ケーブル）を通すための通線口14が設けられている。

【0013】さらに引出し4の奥板4bの裏側には図5または図6に示すように袖1aの側面1bもしくは背面の通線口14との間で引出し4の出入時のケーブル12を保護し、たれ下がり防止するための手段が設けられている。

【0014】図5は、引出し4が引込まれる位置の下部に棚板状のケーブル受部材15が設けられている。このケーブル受部材15は図示の例では金属板からなり、袖1aの両側内面に両側端部15a、15aが固着されることによって棚板状に取付けられ、このケーブル受部材

15の上面にケーブル12が置かれ、この上面上で自由に動けるようになされている。なおこのケーブル受部材15は必ずしも板材に限らず、孔あき板、すのこ状等であってよい。

【0015】図6は、ケーブルガイド17を設けた場合であり、このケーブルガイド16は蝶番等により開閉自在に連結された同じ大きさの2片を有してケーブル12が引張られたときや押し込まれたときにバンタグラフのようにケーブル12に追従して作動し、ケーブル12のからみを防いで保護するようにしたものである。すなわちケーブルガイド16には長手方向の両端にケーブル12を沿わせるために必要数の孔16aがあってこの両孔16aにケーブル12を通すことによりケーブル12と一体に動くようになる。

【0016】図7は補助天板9を開き、引出し4からノート型OA機器10を取出して補助天板9上に載置して使用可能とした状態を示し、袖1aを左側に位置させることでマウス17を天板2上で使用することができる。

【0017】図8は天板2上にノート型OA機器10を載置した状態を示すもので、この場合には前述のようにデスク1と引出し4の鏡板4aとの間が開口8となっているからケーブル12を接続したまま引出し4を閉めることができ、ノート型OA機器10を天板2上で使用することができる。

【0018】上記実施の形態においては、デスク1の袖1aに本発明を適用した場合について示したが、本発明というデスクは、図9(A)に示すようなサイドテーブル18、または図9(B)に示すようにデスクの天板2の下部でキャスタ19、19により左右任意の側に寄せて使用する引出し式キャビネット20を含み、これらサイドテーブル18、キャビネット20の引出しに対して前記と同様に構成することができるものである。

【0019】

【発明の効果】本発明は以上説明したように構成したから、つぎに示す効果が得られる。

【0020】1) 請求項1に記載の発明によれば、ケーブルを接続したまま引出しを閉め、ノート型OA機器10を天板上での使用が可能となる。

【0021】したがってノート型OA機器を引出しに出し入れする際にケーブルを脱着する必要がなく、また従来生じた脱着の繰り返しによるコネクタ部分の損傷も予防することができる。さらに施錠することによりノート型OA機器等の盗難や悪用を予防することができる。

【0022】2) 請求項2、3に記載の発明によれば、引出しの奥板の裏側と袖側面の通線口間のケーブルはケーブル受部材またはケーブルガイドにより保護されるからケーブルの耐久性を高めることができる。

【0023】3) 請求項4に記載の発明によれば、引出しに補助天板を設けたことによりデスク、天板が他の仕事で使用できない場合でも補助天板上でOA機器作業やその他の作業を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明にかかるノート型OA機器用対応デスクの一実施形態の前側から見た斜視図。

【図2】図1の最上段の引出しを引出した状態を示す斜視図。

【図3】図2の補助天板を起立させた状態を示す斜視図。

【図4】図3の引出し内の通線口と袖通線口との関係を示す斜視図。

【図5】ケーブルガイド手段としてケーブル受部材を設けた場合の引出し時の斜視図。

【図6】ケーブルガイド手段としてケーブルガイドを設けた場合の引出し時の斜視図。

【図7】図2の補助天板上に載置したノート型OA機器の使用状態を示す斜視図。

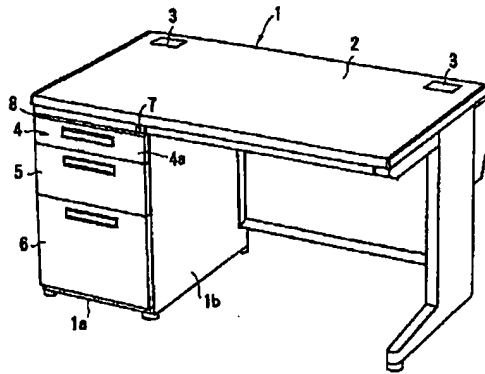
【図8】図1の天板上に載置したノート型OA機器の使用状態を示す斜視図。

【図9】(A)、(B)はデスクの他の例を示す正面図。

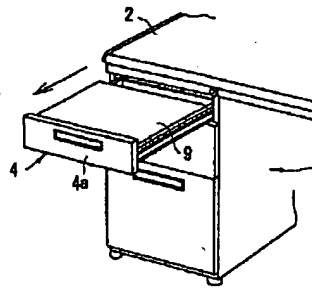
【符号の説明】

- 1 デスク
- 1a 袖
- 2 天板
- 4 引出し
- 4a 前鏡板
- 4b 奥板
- 8 開口
- 9 補助天板
- 11 電源コンセント
- 12 ケーブル
- 13, 14 通線口
- 15 ケーブル受部材
- 16 ケーブルガイド
- 18 サイドテーブル
- 20 引出し式キャビネット

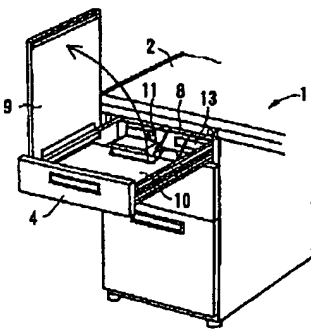
【図1】



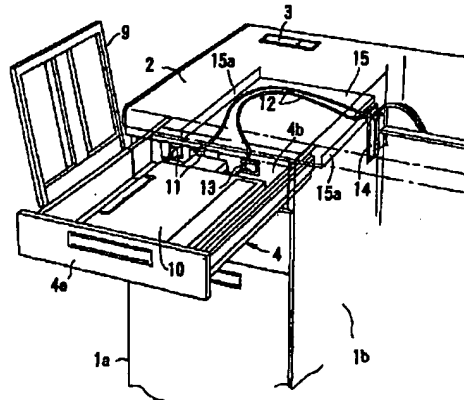
【図2】



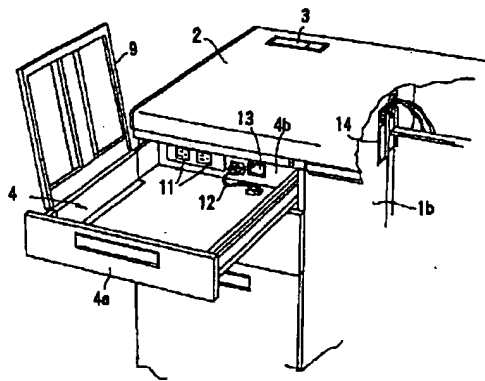
【図3】



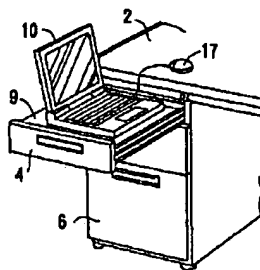
【図5】



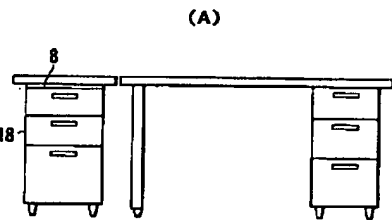
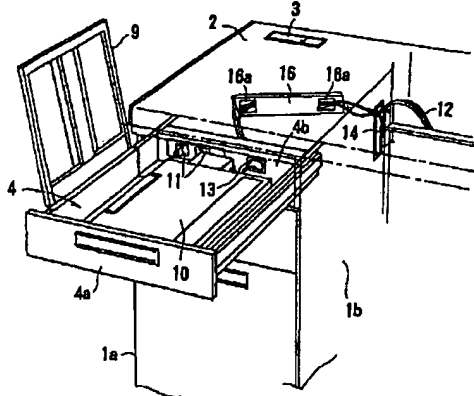
【図4】



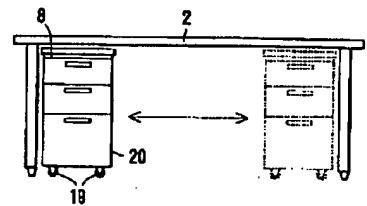
【図7】



【図9】



(B)



(5)

特開平10-211037

【図8】

